

運用実績

2022年4月28日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 17,578円

※分配金控除後

純資産総額 143.1億円

- 信託設定日 2003年11月19日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則 11月18日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-10.4%
3ヵ月	-7.8%
6ヵ月	-28.8%
1年	-30.9%
3年	-3.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2021年11月	1,200円
2020年11月	1,300円
2019年11月	1,000円
2018年11月	900円
2017年11月	1,100円

設定来 199.8%

設定来累計 11,010円

設定来=2003年11月19日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2022年4月28日 現在

国・地域別配分	
国・地域	純資産比
アメリカ	71.1%
オランダ	6.2%
アイルランド	5.7%
デンマーク	3.1%
ドイツ	2.9%
その他の国・地域	6.5%
その他の資産	4.5%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。

通貨別配分	
通貨	実質通貨比率
日本・円	99.8%
その他の通貨	0.2%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2022年4月28日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
HORIZON THERAPEUTICS PLC	アイルランド	5.7%
ARGENX SE-ADR	オランダ	5.5%
VERTEX PHARMACEUTICALS	アメリカ	4.9%
SEAGEN INC	アメリカ	4.5%
REGENERON PHARMACEUTICALS	アメリカ	4.3%
UNITED THERAPEUTICS CORP	アメリカ	3.7%
CYTOKINETICS INC	アメリカ	3.2%
INCYTE CORP	アメリカ	3.2%
GENMAB A/S	デンマーク	3.1%
BIONTECH SE-ADR	ドイツ	2.9%
合計		41.0%

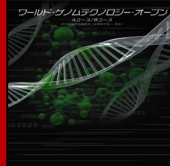
組入銘柄数 : 57銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身で判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



運用実績

2022年4月28日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 23,941円

※分配金控除後

純資産総額 201.5億円

- 信託設定日 2003年11月19日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則 11月18日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-5.8%
3カ月	2.7%
6カ月	-19.6%
1年	-18.5%
3年	13.4%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2021年11月	1,500円
2020年11月	1,500円
2019年11月	1,400円
2018年11月	1,200円
2017年11月	1,300円

設定来 312.4%

設定来累計 13,090円

設定来=2003年11月19日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2022年4月28日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	71.1%
オランダ	6.2%
アイルランド	5.7%
デンマーク	3.1%
ドイツ	2.9%
その他の国・地域	6.5%
その他の資産	4.6%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示していません。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
アメリカ・ドル	95.1%
デンマーク・クローネ	3.3%
日本・円	1.5%
-	-
-	-
その他の通貨	0.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2022年4月28日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
HORIZON THERAPEUTICS PLC	アイルランド	5.7%
ARGENX SE-ADR	オランダ	5.5%
VERTEX PHARMACEUTICALS	アメリカ	4.9%
SEAGEN INC	アメリカ	4.5%
REGENERON PHARMACEUTICALS	アメリカ	4.3%
UNITED THERAPEUTICS CORP	アメリカ	3.7%
CYTOKINETICS INC	アメリカ	3.2%
INCYTE CORP	アメリカ	3.2%
GENMAB A/S	デンマーク	3.1%
BIONTECH SE-ADR	ドイツ	2.9%
合計		41.0%

組入銘柄数 : 57銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身で判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。
■銘柄選択の視点■
○「研究開発力と研究開発のリスク分散」：ユニークな製品／技術基盤を持ち、複数の研究開発プロジェクトを有する企業に注目します。
○「強固な経営陣」：優れた科学技術と経営手腕(マーケティング戦略、特許戦略など)を有する強力な経営陣を持つ企業に注目します。
○「健全な財務内容」：資金の調達状況など、企業の継続性を維持できる財務の健全性を有するか否かを確認します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ投信投資顧問株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年11月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2023年11月20日まで(2003年11月19日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則11月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換価価額 ご換価申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年2.09%(税抜年1.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等にに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

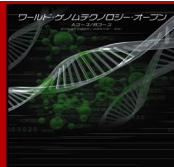
三井住友信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○米国株式市場は上旬、FRB(米連邦準備制度理事会)の理事が資産圧縮を「5月にも急ピッチで始める」と発言するなど、金融引き締め姿勢の強まりに対する懸念が広がったことなどから、下落しました。中旬からは、2022年1-3月期の決算発表が始まり、多くの企業で業績が市場予想を上回った一方、今後の見通しについては、物価上昇が業績への重石になるとの見方を示す企業も多く、企業業績への警戒感から月末にかけて下落基調が続き、月間でも下落となりました。

○ナスダック・バイオテクノロジー株指数(米ドルベース)の月間騰落率は7.72%の下落となりました。バイオテクノロジー株は、月初は堅調に推移したものの、月半ば以降は米国金利の上昇を受けバリュエーション(投資価値評価)の高い銘柄を中心に下落基調が強まり、月間では下落となりました。

○新薬承認関連では、米バイオテクノロジー企業が、日本の製薬企業と開発したアルツハイマー病治療薬について、EMA(欧州医薬品庁)への販売承認申請取り下げを発表しました。これまで提出されたデータは、承認への肯定的見解の支持に不十分との見解が示されていたもので、EMAは昨年12月に同治療薬の承認を見送っていました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)騰落率は、Aコースが10.39%、Bコースが5.84%それぞれ下落となりました。

○組入上位銘柄のうち、株価下落率が大きかった主な銘柄は、ビオンテック、シージェン、アルジェンXなどでした。

○月間の主な売買では、パーキンソン病治療薬などを手がける米国のバイオ医薬品会社株などを新規に買い付けしたほか、がん治療のための免疫療法の開発などを行なうバイオテクノロジー会社株などの買い増しを行ないました。

今後の運用方針(2022年4月28日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は長期化の様相を呈してきており、西側諸国はロシアに対する経済制裁を強化するなど、世界経済の先行きは益々不透明感が増しております。株式市場はロシア・ウクライナ情勢に解決の道筋が見えるまでは値動きの大きい展開が続く公算が大きいと考えますが、運用チームは2022年はFDA(米食品医薬品局)への信頼が高まり、バイオ医薬品セクターを取り巻く状況が好転するものと見ています。また、現在のバイオテクノロジー株のバリュエーションが相対的に割安な水準にあり、長期的な価値を見出す機会となっている可能性があると考えております。特に、大手医薬品企業や大手バイオ医薬品企業はM&A(企業の合併・買収)の原資となる多額の現金を有していることから、業界再編の動きに期待しています。

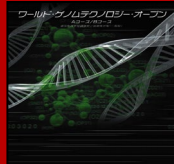
○中長期的には、医薬品に関連する医療費についての議論が大きく変化していることがわかります。幾つかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度(価値に基づく医療)が利用されていますが、処方薬で最大のマーケットである米国においても、従来の出来高払い方式ではなく、同様の制度を求める声は、益々大きくなっています。医薬品企業と同様に政府、規制当局、保険業者は、医薬品の開発においてイノベーション(技術革新)を抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理することができる妥協案を見つけることを必要としています。

○このような環境の中、当ファンドでは高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズの重要度や、薬価および治療薬への患者のアクセスの妥当性などの要因について考慮することも必要です。引き続き、ボトムアップ・アプローチとファンダメンタルズ分析に加え、リスクを考慮したポートフォリオ構築を行なって参ります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2022年4月28日現在

組入銘柄	組入銘柄解説/ESGへの取り組み
1 ホライゾン・セラピューティクス	<p>バイオ製薬会社。疼痛、炎症、特殊疾患、および希少疾患を治療する臨床試験後期のバイオ医薬品を開発・取得・商品化する。</p> <p>甲状腺眼症の治療薬を開発。痛みや炎症性疾患に対する画期的な治療薬を製造することで、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
2 アルジェンX	<p>バイオテクノロジー会社。深刻な自己免疫疾患およびがんを対象に抗体療法を開発する。オランダとベルギーで事業を展開。</p> <p>新しく革新的な抗体医薬を開発・製造することで、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
3 バートックス・ファーマシューティカルズ	<p>医薬品メーカー。医薬品の発見、開発、商品化に従事する。嚢胞性線維症、がん、炎症性腸疾患、自己免疫疾患、および神経疾患の治療薬を開発。世界各地で事業を展開。</p> <p>嚢胞性線維症治療薬のマーケットリーダー。画期的な治療薬の開発・製造により、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
4 シーゲン	<p>バイオテクノロジー会社。がんなどの治療に使用されるモノクローナル抗体ベースの医薬品を創出・開発するほか、腫瘍に殺細胞薬を直接投与する抗体薬物複合体を提供する。世界各地で事業を展開。</p> <p>ADC(抗体薬物複合体)によるがん治療は、がんの治療法を再構築し、生活の質向上に貢献。</p>
5 リジェネロン・ファーマシューティカルズ	<p>バイオ医薬品メーカー。重病患者の治療を対象とする医療製品の研究開発と商品化を手掛ける。がん、眼病、慢性炎症の治療薬(臨床試験段階)、またその他の病気や障害を対象とする治療薬(前臨床段階)を保有する。</p> <p>複数の大型新薬を生み出した強力な抗体創製プラットフォームを有し、画期的な治療薬の開発・製造により、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
6 ユナイテッド・セラピューティクス	<p>製薬会社。肺高血圧症や抹消血管疾患などの血管疾患用治療薬を開発する。主要製品は、経口・皮下投与用の安定型合成プロスタサイクリン。</p> <p>PAH(肺動脈性肺高血圧症)治療薬を開発し、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
7 サイトカインेटィクス	<p>バイオ医薬品メーカー。臨床試験段階の医薬品を開発する。筋機能を調整する低分子医薬品の発見・開発に特化。製品は病状の治療への応用を目指す。米国カリフォルニア州で事業を展開。</p> <p>画期的な治療薬の開発・製造により、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
8 インサイト	<p>バイオ医薬品会社。主に腫瘍治療に用いる独自の小分子薬の発見、開発、商業化を手掛ける。</p> <p>がん領域で画期的な治療薬を開発・製造することで、人々の健康で長生きする生活に貢献。</p>
9 ジェンマブ	<p>バイオテクノロジー会社。がん治療用の抗体治療剤の開発に特化する。世界各地で事業を展開。</p> <p>がん領域における革新的な独自の抗体治療薬は、がんの治療法を再構築し、生活の質向上に貢献。</p>
10 ビオンテック-ADR	<p>バイオ・テクノロジー・ソリューション会社。がん患者の腫瘍に対する様々な種類の治療を開発する。世界各地で事業を展開。</p> <p>がん領域における画期的な治療薬とワクチンの開発・製造を行なう。</p>

(出所)「組入銘柄解説/ESGへの取り組み」は、Bloombergの情報提供に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。